

# 令和6(2024)年 4月からの とことんは...

- 今日も1日、力いっぱい遊び、明日が待ち遠しい“とことん”であるように、こどもを1番に、今年もスタートです。

発行 令和6年4月1日 ほろむい認定こども園とことん



## 今年度のテーマは、“まっすぐ こども”



\* とことんでは、こどもにとって、時間も、場所も、玩具や制作材料も、自由度の高い環境を整えることを第一に、自主性、主体性を大切に園生活を進めてまいりました。

特に、令和5年度は、クラスビジョンを通じて、絵本をヒントに、あそびを思い思いに繰り広げるなど、とことんのカタチができあがってきています。

一方、こどもの自由度を尊重するあまり、集団としての規律やマナーへのかかわり、あるいは、放任にはなっていないかななどの声も聞かれました。

テーマは、「まっすぐ こども」。これまでのスタイルを変えることなく、考えさせるところは考えさせ、諭すべきところは諭し、一人ひとりに一層きめ細かな関わりをしようとの思いを込めました。

令和6年度の方針から、次の3点について紹介します。



### 0・1・2歳児は養護を大切にします



\* 0・1・2歳児は、保育者との信頼と安心を軸に、その子に配慮した排泄、食事、休養を生活リズムとして整え、自分でできることを増やしていきます。

\* 3・4・5歳児は、効果的な動機付けを軸に、個々の興味・関心に応えとともに、規律やマナーも共に考え、身に付くように働きかけていきます。



### 年間行事を見直します



\* お知らせのとおり、運動会は9月、発表会は12月に計画し、こどもが余裕を持って取り組めるようにしました。また、運動会は、親子競技を取入れ、広い会場で力いっぱい楽しめるよう「ほっとかん」での開催を予定しています。

さらに、年間行事にゆとりを持たせ、普段の遊びの発展として、クッキングを楽しんだり、バスで出かけたり、本物に触れるクラス独自の取り組みも想定しています。



### 保育公開、地域参観を開催します



\* 昨年に引き続き、市内外の教育・保育関係者対象の保育公開と、新たに、幌向在住の皆さんにご案内し、生き生きと生活するこどもの様子を見ていただきます。

この機会を通じ、地域の皆さんの見守りのなかで、安心して生活できるようになるものと期待しています。



## 体調不良時の登園の目安



\* お子さんの体調不良に伴い、登園させるべきか迷うことがあるとの声をお聞きしています。

これまで、発熱後 24 時間は登園をお控えいただき、家庭保育のご協力をお願いしてまいりましたが、今後は、お示した登園の目安を参考にご活用ください。※ HP でご覧いただけます

それでも、お仕事の都合や、ご家族の事情もあって、判断に迷うことがあると思いますので、主任保育士までお気軽にご相談ください。



## 今年度の職員体制



\* 新年度は、総勢38名の職員が、お子さんをお預かりいたします。

保育に関する質問やお問合せは、次を窓口にお応えします。お気軽にお声掛けください。

主任保育士 ●●(●●) 副主任保育士 ●●(●●)

未満児リーダー ●●(●●) 以上児リーダー ●●(●●)



## 安全にお預かりするために



\* 散歩などの活動は、園が作成する「園外活動の安全管理のために(参考 令和元年6月21日厚生労働省通知)」に基づき進めています。



- 散歩経路や危険箇所
- 職員体制や携行品  
(救急用品、携帯電話、緊急連絡先ほか)
- 児童の様子  
(人数、服装、健康状態など)

- 歩き方(2列、手をつなぐ、危険の回避)
- 出発前、現地、帰園時、児童の様子(人数、動向、健康管理など)を複数回、把握

\* 重大事故につながりかねない「午睡・食事(アレルギー、誤嚥など)・水遊び」についても、繰り返し確認しながら進めます。

\* 去年は、日本赤十字社「幼児の救急法」を受講しました。

今年も、日常的な感染症対策はもちろん、こどもの命を預かる現場として、専門講師による実技講習を計画してまいります。

園児数113名 保育者は26名

	はな 0歳児	にじ 1歳児	もり 2歳児	ほし 3歳児	つき 4歳児	たいよう 5歳児
児童数	8	16	18	21	29	21
担任	3	3+1	4	3+1	3	2
フリー	保育士 5		子育て支援員(親子カフェ) 1			
園長	副園長		主任保育士		専任	
			副主任保育士		兼任	
			未満児リーダー		兼任	
			以上児リーダー		兼任	
栄養士	1					
調理師	1		事務員 1		環境整備屋内	
調理員	2				3	
					環境整備屋外	
					2	

令和6年4月1日現在

※ +1は、子育て支援員

## ご協力ください

□ リュックなどにキーホルダーをつけるのは、万が一の誤飲や紛失の心配がありますので、お控えください。

□ お迎え時、遊びに夢中で帰りがたらないお子さんを目にすることがあります。お困りの際は、保育者にお声掛けください。

